

解答

一

問一	連なる
問二	うわて、じょうず
問三	ー シン 2 さんずい 3 十一
問四	エ
問五	イ
問六	ウ
問七	紅
問八	エ
問九	ア
問十	退く／遅れる／止まる

二

問一	困難な環境
問二	温室
問三	② 完備 ⑥ 批判
問四	イ
問五	たくましく生きる点
問六	エ
問七	ア
問八	B ウ C オ
問九	A × イ ○ ウ ○ エ ×

三

問一	ウ
問二	ウ
問三	ア
問四	働きたいのに働けなくなってしまったから。
問五	エ
問六	耕された
問七	ア
問八	イ
問九	エ
問十	ウ

解説

二

問七	——線⑦の前後に着目します。「ところが、水がないときには、水を求めて根っこは伸びる。」「苦しいときにこそ、根っこが伸びるのである。」「誰も水をやらない雑草は、根っこを深く張っている。」等の記述から、理由として適切なものは選択肢アであることがわかります。
問九	本文の後半にある「どんなに厳しい条件でも必ず花を咲かせ、実を結ぶ。これは雑草の持つ特性である。」「条件が厳しくても、わずかな種子を残すが、条件がよければ、大量に種子を生産するというのである。」という記述から選択肢イは○になります。また、本文中盤の「かつて原子爆弾によって」で始まる段落に「人びとに希望を与えた、雑草の生命力の秘密は、外からは見えない深い根にあったのである。」という記述から、選択肢ウも○になります。その他の選択肢は本文の内容にあてはまりません。

問二

——線②の後にある、サンドリさんの話をまとめた部分に着目します。「ボローニャ市民の何人かが」で始まる段落の内容から、選択肢ウが最も適切であることがわかります。

問十

本文の中盤にある、「これまで見てきたように、」で始まる段落や最終段落の内容から、選択肢ウが選べます。